

地方創生の始動

～「小さくともキラリと輝くまち・亀山」をめざして～



亀山市長 櫻井 義之

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成28年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は市政各般に深いご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

昨年は、新市施行から10周年という節目の年でありました。式典をはじめ多彩な10周年記念事業を展開いたしました。また、消防北東分署の開署、亀山関テクノヒルズへの2社の企業立地などの心強い出来事とともに、伊勢神宮式年遷宮による20年に1度の関宿東追分一の鳥居の建て替えという、長い歴史の一コマに立ち会うことができ、実に感慨深い年でありました。

また、我が国は少子超高齢社会の進展や人口減少社会という、大きな社会構造の転換点に



足を踏み入れております。国においては、長期ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生への取り組みが始まりました。

本市は、来る平成28年度、若者の定住促進を柱とする「亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が始動するとともに、次の中長期計画となる「第2次亀山市総合計画」策定の年となります。私たちは今日までの歩みを礎とし、確かな将来展望に基づく積極果敢なチャレンジが求められていると考えます。

一方、市民の安心を支える地域包括ケアシステムの構築、本市初となる認定こども園の開設、医療センターの経営基盤強化に向けた病院事業管理者の設置、シティプロモーションの強化などとともに、行財政改革を重点的に推進してまいります。また、地域の絆の希薄化が問われる昨今、地域まちづくり協議会の設立を引き続き支援し、新し

い自治のしくみの確立をめざします。さらには、伊勢志摩サミットの開催を迎える本年、国際交流につながる好機となることを願うものであります。

清々しい元旦を迎え、私はこの1年、「愛着と幸福実感の向上」を可能とする『小さくともキラリと輝くまち・亀山』の実現に向け、進取の気風に満ちた行政運営を重ねてまいりますので、尚一層のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

本年が皆様におかれまして、幸多く明るい年となりますことをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。